

「田んぼまわりの生きものマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト」受賞作品決定!

多面的機能支払交付金を活用した活動を通して、とちぎの豊かな農業・農村の保全の重要性を多くの県民に理解してもらうとともに、活動への積極的な参画を促進するため「田んぼまわりの生きものマップ・とちぎの豊かな農村づくり写真コンテスト」を開催し、次の作品の受賞が決定しました。

応募数	
○生きものマップ	86点 (85組織)
○写真 (生きもの調査の部)	95点 (41組織)
○写真 (地域ぐるみの活動の部)	74点 (35組織)

田んぼまわりの生きものマップ

🌸 最優秀賞 🌸



みたとうぶ保全会 立木上立木塾(小山市)

○優秀賞

板荷畑いつくし美会	(鹿沼市)
思川西部農村環境保全会 寒川花桶の郷	(小山市)
荒川南部地域保全会	(那須烏山市)

○審査員特別賞

思川西部農村環境保全会 迫間田の郷	(小山市)
湧水の郷塩田環境保全会	(矢板市)

とちぎの豊かな農村づくり写真

田んぼまわりの生きもの調査の部

🌸 最優秀賞 🌸

益子町環境保全広域協定運営委員会
里西環境保全会 (益子町)



○優秀賞

こもりやグリーン倶楽部	(宇都宮市)
益子町環境保全広域協定運営委員会	
長堤環境保全会	(益子町)
夢・はにしの里協議会	(壬生町)

地域ぐるみの活動の部

🌸 最優秀賞 🌸

益子町環境保全広域協定運営委員会
東田井環境保全会 (益子町)



○優秀賞

下川岸農地保全会	(宇都宮市)
益子町環境保全広域協定運営委員会	
栗生環境保全会	(益子町)
夢・はにしの里協議会	(壬生町)

「地域資源保全！住民参加を考えるシンポジウムinとちぎ」を開催

日本グラウンド
ワーク協会と共催

平成30年10月12、13日に小山市道の駅思川他において開催し、グラウンドワーク関係者、多面的機能支払交付金関係者、国・県・市町担当者等約120名が参加しました。

10月12日(シンポジウム)

基調講演

農林水産省農村振興局の長山政道多面的機能支払推進室長より、多面的機能支払交付金の概要及び課題・対応方向、グラウンドワークとの連携について講演いただきました。



パネルディスカッションの様子

活動事例紹介

- ・小山市の多面的機能支払交付金とグラウンドワークの取り組み
(小山市産業観光部 田尻淳次長兼農村整備課長)
- ・環境に配慮した農村づくりについて
(小山市 みたとうぶ保全会 高瀬孝明代表)
- ・グラウンドワーク西鬼怒の活動紹介
(宇都宮市 グラウンドワーク西鬼怒 水谷正一理事長)
- ・ホテルの里づくりと学校教育との連携
(宇都宮市 富屋西部ホテル愛護会 入江利会長)

パネルディスカッションでは、「農村の景観を守ることは値段がつけられない価値がある」といった意見が出された一方で、「水路の維持管理など次世代の担い手をどう育てるか」等の課題も指摘されました。

パネルディスカッション

豊かな農村環境の地域資源は誰が守るのか

10月13日(現地研修会)

視察地

思川西部農村環境保全会、みたとうぶ環境保全会(小山市)
グラウンドワーク西鬼怒(宇都宮市)

環境に配慮した取り組みとして、さかなだまり水路を紹介いただきました。



現地研修の様子(みたとうぶ保全会)

「平成30年度 多面的機能支払交付金に係る活動組織研修会」を開催

表彰式

田んぼまわりの生きものマップ・とちぎの豊かな農村づくり
写真コンテスト

研修会

- 多面的機能支払交付金の今後の動向について
(関東農政局農地整備課 佐藤辰也多面的機能支払推進室長)
- 栃木県内における優良活動事例の紹介
 - ・地域資源保全管理構想における地域営農ビジョン作成について
(県農村振興課 松井丈副主幹、峯岸地区農地維持組合 深澤仁氏)
 - ・多面的機能支払交付金における広域化の取り組みについて
(益子町農政課 塚本美穂主事、
益子町環境保全広域協定運営委員会 高野美晴代表)
 - ・多面的機能支払交付金における土地改良区の関わりについて
(思川西部農村環境保全会 大塚由里子業務主任)
 - ・地域で行う生態系保全と施設の維持管理について
(栃木県コンクリート製品協同組合 手塚光一専務理事)



表彰式



活動継続のための広域化の取り組み等については、県の事例集でも紹介しております。

参加された皆様にはシンポジウム、研修会が新たな取り組みのヒントとなり、今後の活動の充実に繋がれば幸いです。

多面的機能支払交付金 H31 (2019) 制度改正のポイント

新たに2つの活動支援の加算措置が始まるほか、これまでの支援の内容が拡充されます。

【新設】①多面的機能の更なる増進に向けた活動への支援

多面的機能の増進を図る活動の取組数を新たに1つ以上増加させる場合等に適用されます。

【新設】②農村協働力の深化に向けた活動への支援

①の取組に加えて、構成員のうち非農業者等が占める割合が4割以上かつ実践活動に構成員の総人数の8割以上が毎年度参加する場合に適用されます。

(円/10a)

	多面的機能の更なる増進に向けた活動への支援	左記の取組に加えて、農村協働力の深化に向けた活動への支援
田	300	600
畑	180	360
草地	30	60

様式も簡素化されるので
要チェック
まる!!



【拡充】③活動組織の広域化・体制強化

現行の支援では広域活動組織の設立時等に一律40万円を交付していますが、見直し後は広域活動組織の面積規模別に交付額を年度毎に分け、活動計画期間(最大5年間)にわたる継続的な支援になります。

(円/組織)

区分	年間交付額	総額(5年間)
3集落以上または50ha以上200ha未満	4万円	20万円
200ha以上1,000ha未満または特定非営利活動法人	8万円	40万円
1,000ha以上	16万円	80万円

地域資源保全管理構想を補完する「地域営農ビジョン」を策定しました

県では、益子町、那須町ほか2市の4活動組織をモデル地区に選定し、「地域営農ビジョン」の作成支援を行いました。地域営農ビジョンは、地域農業の概ね5年後の将来展望や作業行程を話し合い、その結果を図面等に描くものです。

このうち、峯岸地区農地維持組合(那須町)では、①3年以内に電気柵による鳥獣害対策を実施、②5年以内にワラビの特産品化及びもち米のブランド化、③集落営農を10年以内に実現などを構想に掲げ、目標達成に向けて話し合いを継続することになりました。(図1)

また、大平環境保全会(益子町)では、遊休農地解消やため池の整備が今後の課題に挙げられました。なお、同保全会では県土地改良事業団体連合会が提供する空中写真を活用して話し合いを行いました(図2)。

峯岸地区農地維持組合(那須町)
話し合い 6/18,8/5,11/4 計3回実施
[取組面積21ha 構成員16名]

地域営農ビジョン

- ・担い手対策
- 集落営農
- ・園芸振興
- わらびの特産化
- ぶどうの栽培
- ・獣害対策
- 電気柵(短期計画)
- ジビエ(長期計画)



図1 完成した地域営農ビジョン

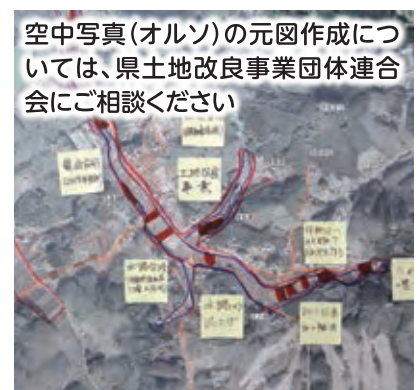


図2 空中写真(オルソ)



平成30年度の各種表彰事業におきまして、以下の活動組織が表彰されました。

第12回栃木県元気な農業コンクール (いきいき農村部門)		
とちぎ元気大賞	宇都宮市	S K 農村環境保全会
とちぎ元気賞	小山市	思川西部農村環境保全会
特別賞	益子町	里西環境保全会
	那須塩原市	稲沢農地水環境保全組合
優良賞	日光市	下板橋の水と緑を守る会
	矢板市	水の郷泉を守る会
	大田原市	寒井本郷環境保全組合
平成30年度栃木県青少年育成県民会議表彰		
	宇都宮市	逆面エコ・アグリノ里
	小山市	思川西部農村環境保全会
	那須塩原市	三区町環境保全隊
多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰		
最優秀賞	那須塩原市	三区町環境保全隊
優秀賞	小山市	思川西部農村環境保全会
	小山市	みたとうぶ保全会



第12回栃木県元気な農業コンクール



平成30年度栃木県青少年育成県民会議表彰



多面的機能発揮促進事業関東農政局長表彰

県協議会からのお知らせ



構成員の合意形成をしっかりと行いましょう

多面的機能支払交付金の実施に関する事項は総会等で議決し、その内容は、活動組織の構成員全員にお知らせしましょう。

複数の集落等の協定による「広域活動組織」では、運営委員会の合意形成に加えて、協定に参加する集落等でも合意形成を図りましょう。

合意形成 3つのポイント

1. 活動内容について毎年度話し合う
2. 話し合いの記録を作る
3. 決まった内容は書面で全員にお知らせ

合意形成が不十分だと・・・

